

2022年3月期 第2四半期決算

決算説明会

2021年10月28日

株式会社 トクヤマ



2022年3月期 第2四半期決算のポイント

- 半導体関連製品やヘルスケア関連製品などの堅調な販売や、石化製品の販売価格上昇などにより対前年同期比で実質増収であったものの、原燃料価格や物流費などのコスト増により減益
- 期初想定を大きく超えた原燃料価格上昇により、通期業績予想を修正。販売価格転嫁などの施策を実施し、業績改善に注力
- 「中期経営計画2025」に掲げるポートフォリオ転換達成に向け、成長事業を中心とした設備投資や研究開発を着実に実施

CONTENTS

- ① 2022年3月期 第2四半期決算
- ② 2022年3月期 業績予想
- ③ 補足資料

① 2022年3月期 第2四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析



1. 決算概要

(億円)

	2021年3月期 第2四半期 収益認識基準適用：無	2022年3月期 第2四半期 収益認識基準適用 上段：有、下段：無	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	1,432	1,326 1,565	△106 +132	△7 +9	石化製品価格上昇 半導体関連製品の販売堅調
営業利益	129	116	△12	△10	原燃料コスト増加
経常利益	124	119	△4	△4	営業利益の減少
親会社株主に帰属する 四半期純利益	99	92	△7	△7	税金費用の増加
1株当たり 四半期純利益 (円)	143.90	128.61	-	-	-
為替 (円/\$)	107	110	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	27,600	50,500	-	-	-

1. 決算概要

(億円)

	2021年3月末	2021年9月末	増 減	主要な変動要因
総資産	3,867	3,968	+100	設備投資に伴う固定資産の増加
自己資本	1,985	2,056	+71	親会社株主に帰属する当期純利益の積み上げ
自己資本比率	51.3%	51.8%	+0.5ポイント	-
有利子負債	984	921	△63	長期借入金の減少
D/Eレシオ	0.50	0.45	△0.05	-
ネットD/Eレシオ*	0.07	0.08	+0.01	-
1株当たり純資産 (円)	2,758.37	2,858.68	-	-

*ネットD/Eレシオ：（有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託）／自己資本

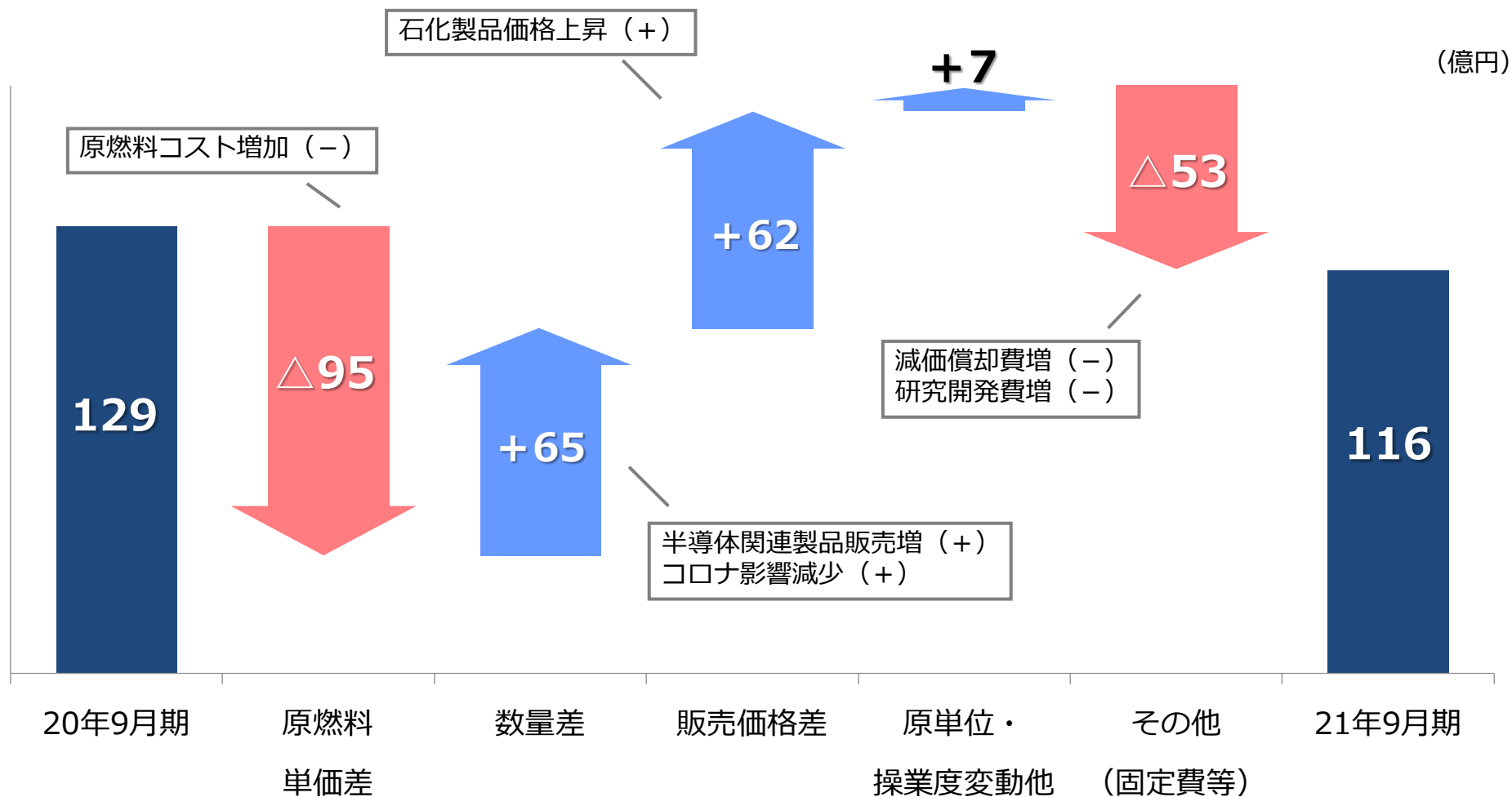
2. セグメント別売上高／営業利益 (前年同期比) (億円)

	2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期		増 減			
	収益認識基準適用：無		収益認識基準適用 上段：有 下段：無		売上高	%	営業利益	%
	売上高	営業利益	売上高	営業利益				
化成品	366	50	438	55	+72	+20	+4	+10
			445		+79	+22		
セメント	421	23	249	0	△171	△41	△23	△100
			469		+48	+11		
電子材料	279	30	338	40	+58	+21	+10	+33
			338		+59	+21		
ライフサイエンス	128	10	153	26	+25	+20	+16	+156
			153		+25	+20		
環境事業	41	△3	44	△3	+3	+8	△0	-
			48		+7	+17		
その他	360	29	167	18	△193	△54	△11	△37
			275		△85	△24		
計	1,597	141	1,392	138	△204	△13	△3	△2
			1,731		+134	+8		
セグメント間 消去・全社費用	△164	△11	△65	△21	+98	-	△9	-
			△166		△1			
連結決算	1,432	129	1,326	116	△106	△7	△12	△10
			1,565		+132	+9		

3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

要因別



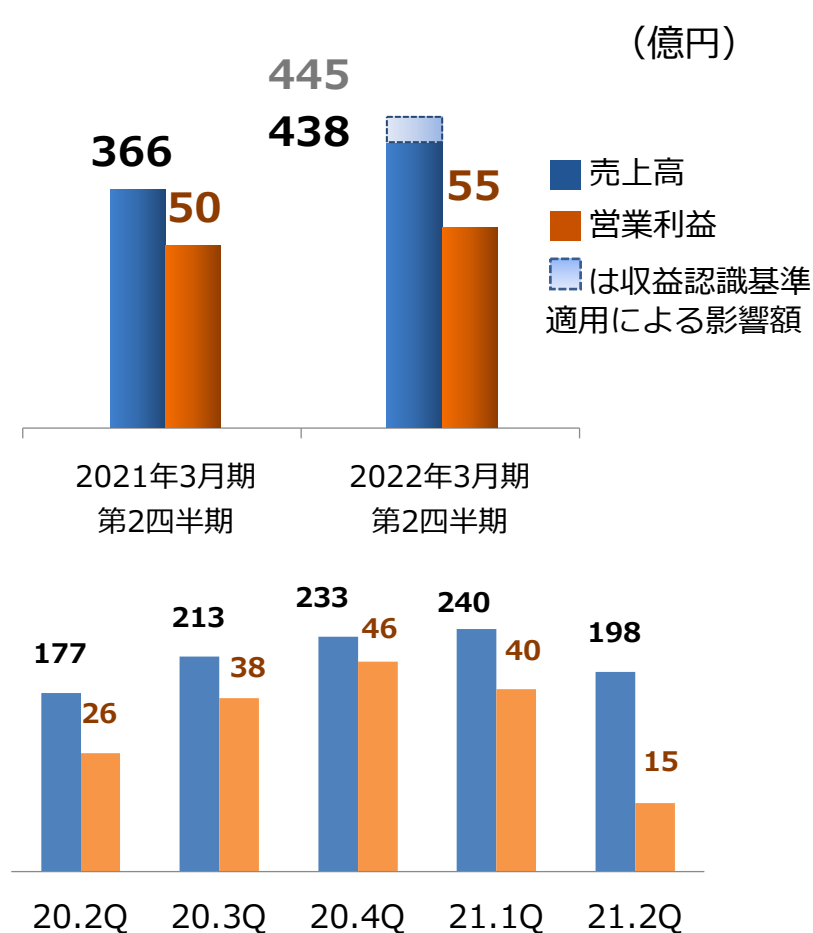
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

化成品

増収増益

定性情報



(苛性ソーダ)

- ・ 原燃料価格の上昇で製造コストが増加したこと等により減益

(塩ビモノマー)

- ・ 輸出価格が上昇したことにより増益

(塩ビ樹脂)

- ・ 原燃料価格の上昇で製造コストが増加したものの、価格是正が進んだことにより前年同期並みの業績

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

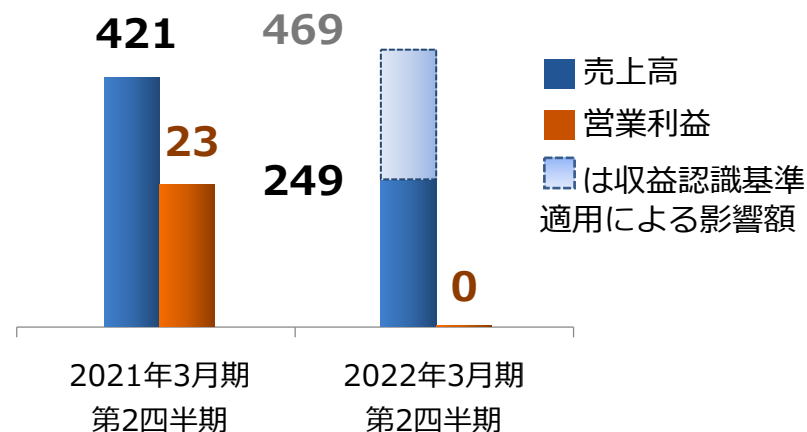
(前年同期比)

セメント

減収減益

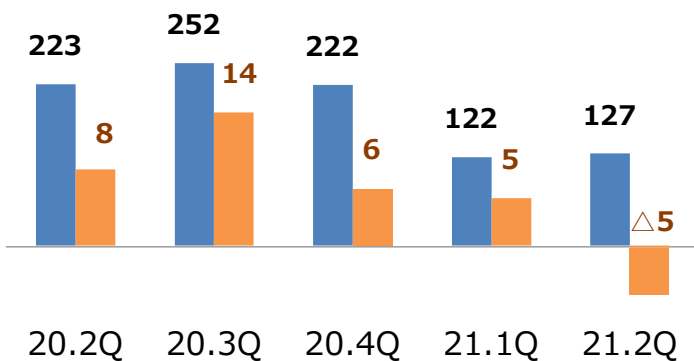
定性情報

(億円)



(セメント)

- 出荷は前年同期並みだったものの、原料価格の上昇で製造コストが増加したことにより減益



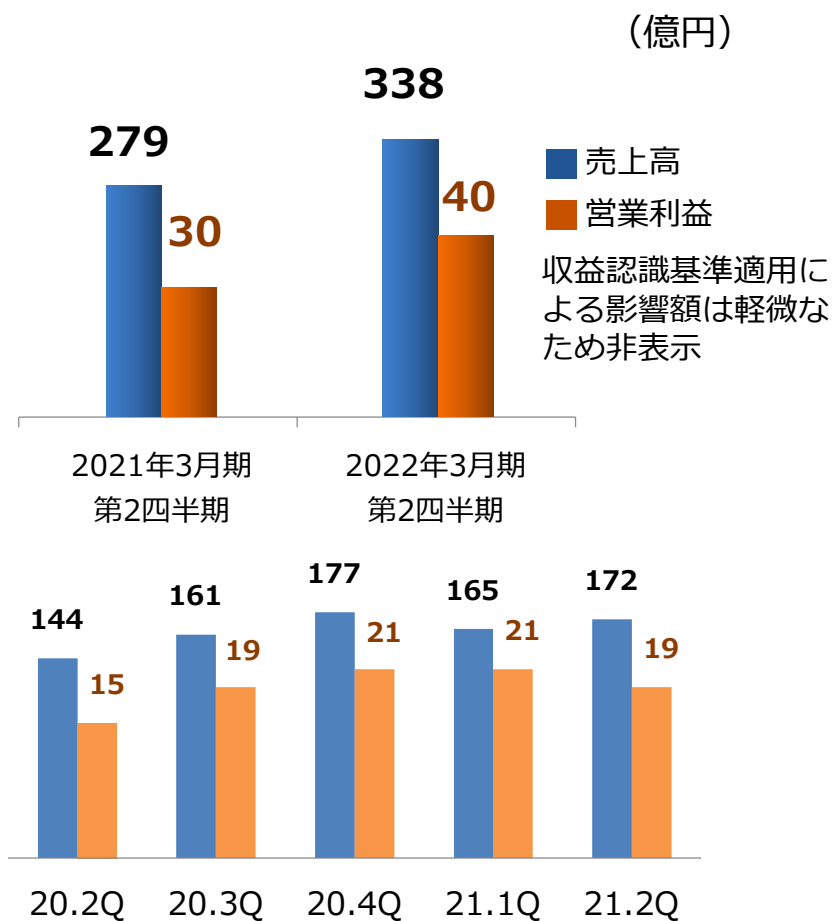
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

電子材料

増収増益

定性情報



(半導体向け多結晶シリコン)

- ・ 5Gの導入やリモートワークの増加を背景に販売が堅調に推移し増益

(ICケミカル)

- ・ 海外向けを中心として販売数量が増加したものの、原料価格の上昇等により減益

(乾式シリカ)

- ・ 半導体用研磨材用途を中心に販売数量が増加し増益

(放熱材)

- ・ 販売数量は堅調に推移したものの、先進技術事業化センターの研究開発費の増加等により前年同期並みの業績

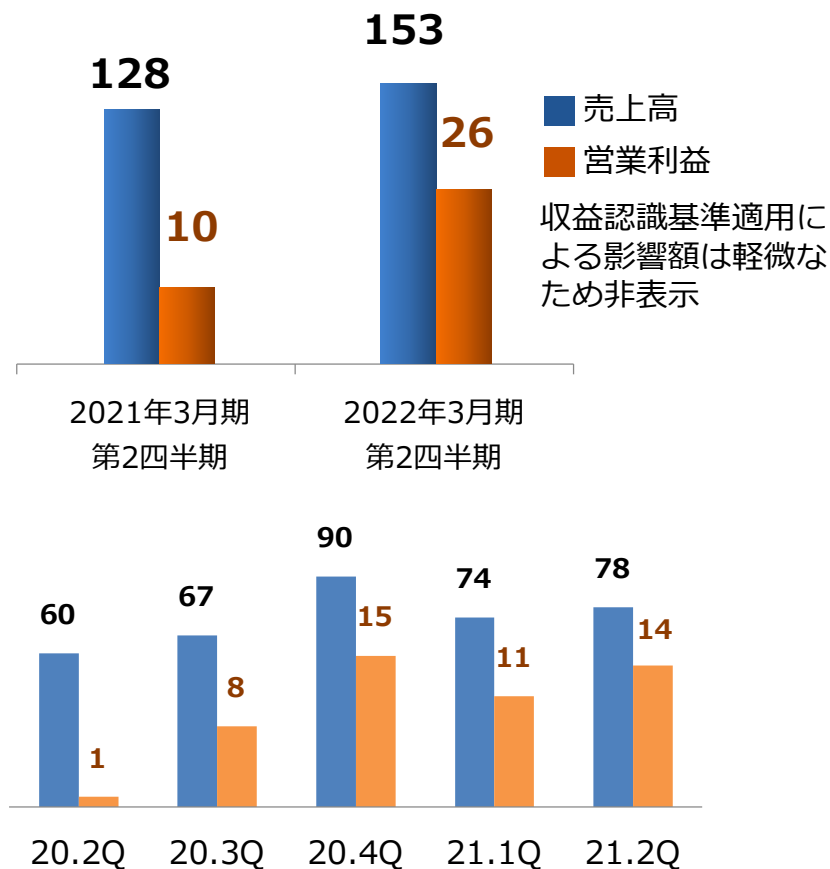
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

ライフ
サイエンス

増収増益

(億円)



定性情報

(歯科器材)

- ・コロナ影響から減少していた欧米向け出荷の復調により増益

(プラスチックレンズ関連材料)

- ・コロナ影響から減少していたメガネレンズ用フォトクロミック材料の欧米向け出荷の復調により増益

(医薬品原薬・中間体)

- ・ジェネリック医薬品向けの販売数量が堅調に推移し増益

(医療診断システム)

- ・臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムの販売が減少し減益

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

環境事業

新たな事業展開
を目指し新設

(億円)

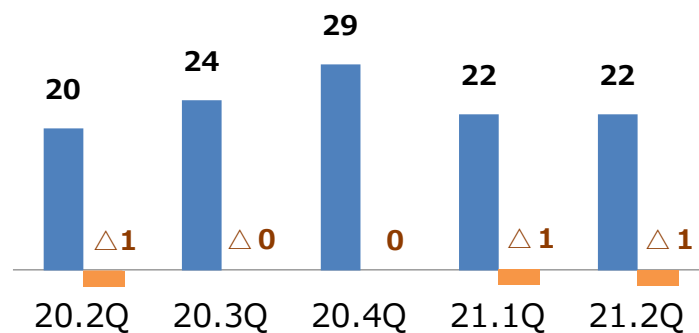
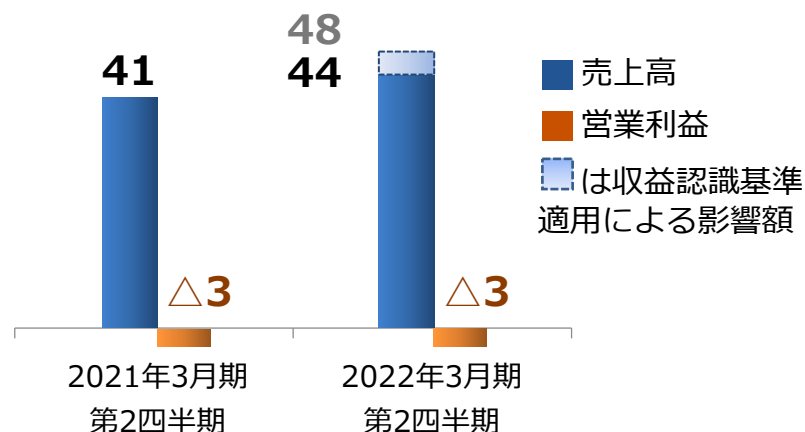
定性情報

(廃石膏ボードリサイクル)

- ・ 廃石膏ボードの受入が堅調だったことにより増益

(イオン交換膜・樹脂サッシ)

- ・ 前年同期並みの業績



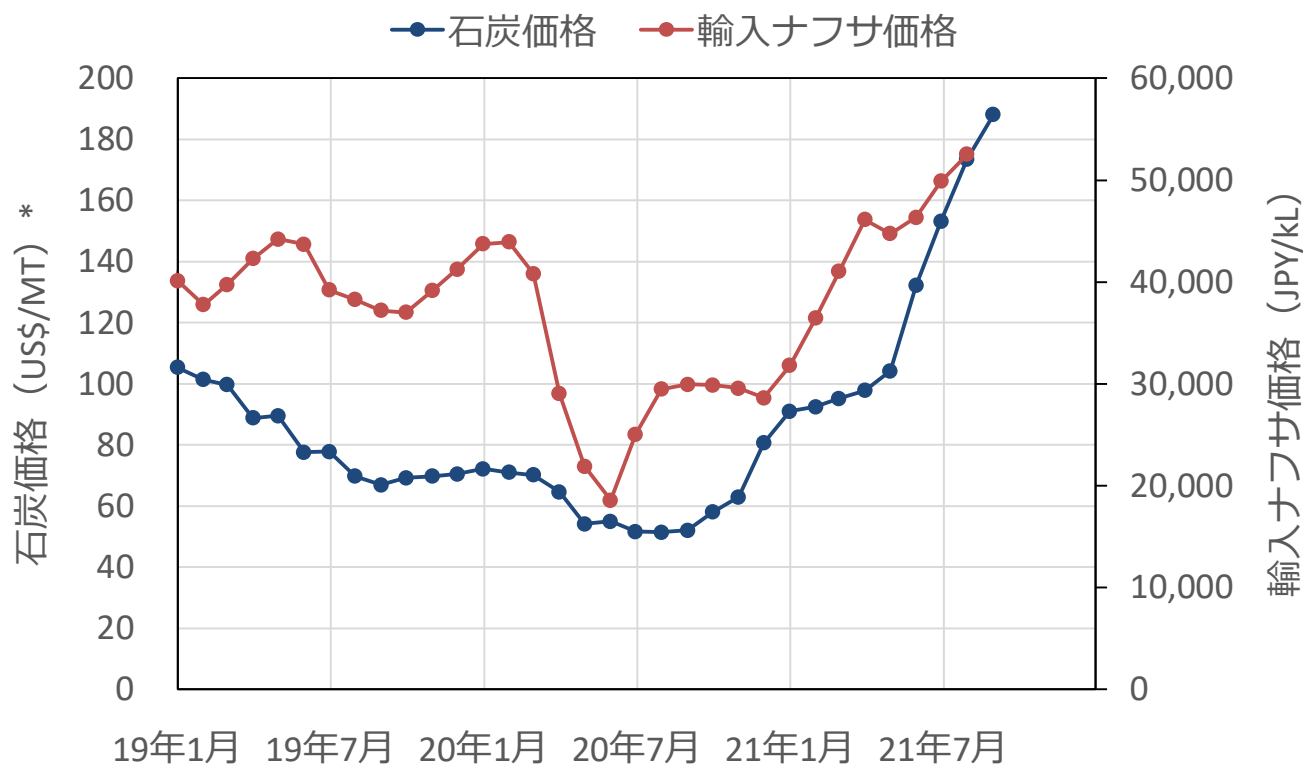
② 2022年3月期 業績予想

1. 業績予想修正
2. セグメント別業績予想修正
3. 株主還元
4. 成長事業投資の進捗



1. 業績予想修正

- 2021年度に入り石炭をはじめとする原燃料価格が軒並み高騰
期初想定を超える価格で推移して製造コストを圧迫



* FOB Newcastle/Port Kembla

出典 石炭価格: IMF
輸入ナフサ価格: 財務省貿易統計

1. 業績予想修正

'21/04/28公表値から修正

(億円)

	2022年3月期予想 (2021/04/28公表) 収益認識基準適用：有	2022年3月期予想 (2021/10/28修正) 収益認識基準適用：有	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	2,710	2,930	+220	+8	石化製品価格修正 半導体関連製品販売堅調
営業利益	260	220	△40	△15	原燃料コスト増加
経常利益	260	220	△40	△15	営業利益の減少
親会社株主に帰属する 当期純利益	220	220	-	-	-
1株当たり 当期純利益 (円)	305.62	305.66	-	-	-
為替 (円/\$)	105	2Q実績：110 3~4Q前提：110	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	45,000	2Q実績：50,500 3~4Q前提：60,000	-	-	-

原燃料価格の動向等を踏まえ、2021年04月28日に公表した数値を修正する

2. セグメント別業績予想修正

'21/04/28公表値から修正

(億円)

	2022年3月期 予想 (2021/04/28公表) 収益認識基準適用：有		2022年3月期 予想 (2021/10/28修正) 収益認識基準適用：有		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	900	135	1,000	145	+100	+11	+10	+7
セメント	530	30	530	△15	-	-	△45	-
電子材料	685	50	735	40	+50	+7	△10	△20
ライフサイエンス	310	40	325	50	+15	+5	+10	+25
環境事業	110	0	115	0	+5	+5	-	-
その他	330	50	330	40	-	-	△10	△20
計	2,865	305	3,035	260	+170	+6	△45	△15
セグメント間 消去・全社費用	△155	△45	△105	△40	+50	-	+5	-
連結決算	2,710	260	2,930	220	+220	+8	△40	△15

(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

2. セグメント別業績予想修正

- 原燃料価格上昇による製造コスト増加への対応策として、販売価格修正を打ち出し

	製品名	打ち出し内容	
		修正幅	適用時期
化成品	塩ビ樹脂	12円以上/kg	6月25日出荷分より
	塩酸	6円以上/kg	10月1日出荷分より
	ソーダ灰	15円以上/kg	11月1日出荷分より
	液体苛性ソーダ	20円以上/kg	11月1日出荷分より
セメント	セメント	2,200円以上/トン	12月1日出荷分より
電子材料	IPA	18円以上/kg	9月1日出荷分より
	乾式シリカ	30%以上	11月1日出荷分より

3. 株主還元

- 原燃料価格上昇等により2022年3月期の業績は厳しい見通しであるものの、中間は予定どおり35円の配当を実施。
 なお、期末配当も35円を予定。

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
中間配当金 (円)	0.0	10.0	25.0	35.0	35.0	35.0
期末配当金 (円)	0.0	20.0	25.0	35.0	35.0	(35.0)
配当性向 (%)	—	11.5	10.1	24.4	19.9	(22.9)

(注1) 2016年度の配当性向は、当期純損失であるため記載なし

(注2) 2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合

(注3) 2017年度期末配当金には100周年記念配当10円を含む

(注4) () 内の数値は予想値

4. 成長事業投資の進捗

- 歯科器材：研究開発成果の製品化、
設備投資を着実に実行し、事業を拡大

- オムニクロマ®

- 米国での販売強化。販売エリアの拡大
- 製品ラインアップの拡充



- 生産能力増強

- 今年5月にトクヤマデンタル鹿島工場の新製造棟完成。
製造設備設置を完了し、オムニクロマ®等の拡販に寄与



もっと未来の人のために

TOKUYAMA 

③ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）
2. 営業外損益・特別損益・金融収支
3. 投資実績・計画
4. 業績推移
5. 設備投資額・減価償却費推移
6. 有利子負債残高推移
7. フリー・キャッシュフロー推移



③ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）

損益計算書

（億円）

	2021年3月期 第2四半期 収益認識基準適用：無	2022年3月期 第2四半期 収益認識基準適用：有	増減	
			金額	%
売上高	1,432	1,326	△106	△7
売上原価	987	868	+119	+12
販管費	315	341	△25	△8
営業利益	129	116	△12	△10
営業外損益	△4	3	+7	-
経常利益	124	119	△4	△4
特別損益	△3	20	+24	-
税前四半期純利益	121	140	+19	+16
法人税等	17	48	△30	△170
非支配株主損益	3	△0	+3	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	99	92	△7	△7

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

1. 連結財務諸表（要約）

貸借対照表

（億円）

	2021年3月末	2021年9月末	増減	
			金額	%
資産合計	3,867	3,968	+100	+3
流動資産	1,997	2,006	+9	+0
有形固定資産	1,240	1,325	+84	+7
無形固定資産	18	20	+1	+8
投資その他の資産	611	616	+5	+1

	2021年3月末	2021年9月末	増減	
			金額	%
負債合計	1,815	1,830	+15	+1
流動負債	833	1,043	+209	+25
固定負債	982	787	△194	△20
純資産合計	2,052	2,137	+85	+4

2. 営業外損益・特別損益・金融収支

連結（前年同期比）

（億円）

		2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	差損益
営業外収益	受取利息・配当金	3	3	+0
	その他	18	28	+10
	計	21	32	+10
営業外費用	支払利息	7	7	+0
	その他	18	22	△3
	計	26	29	△2
営業外損益		△4	3	+7

特別利益	17	25	+8
特別損失	20	5	+15
特別損益	△3	20	+24

金融収支	△4	△3	+1
------	----	----	----

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

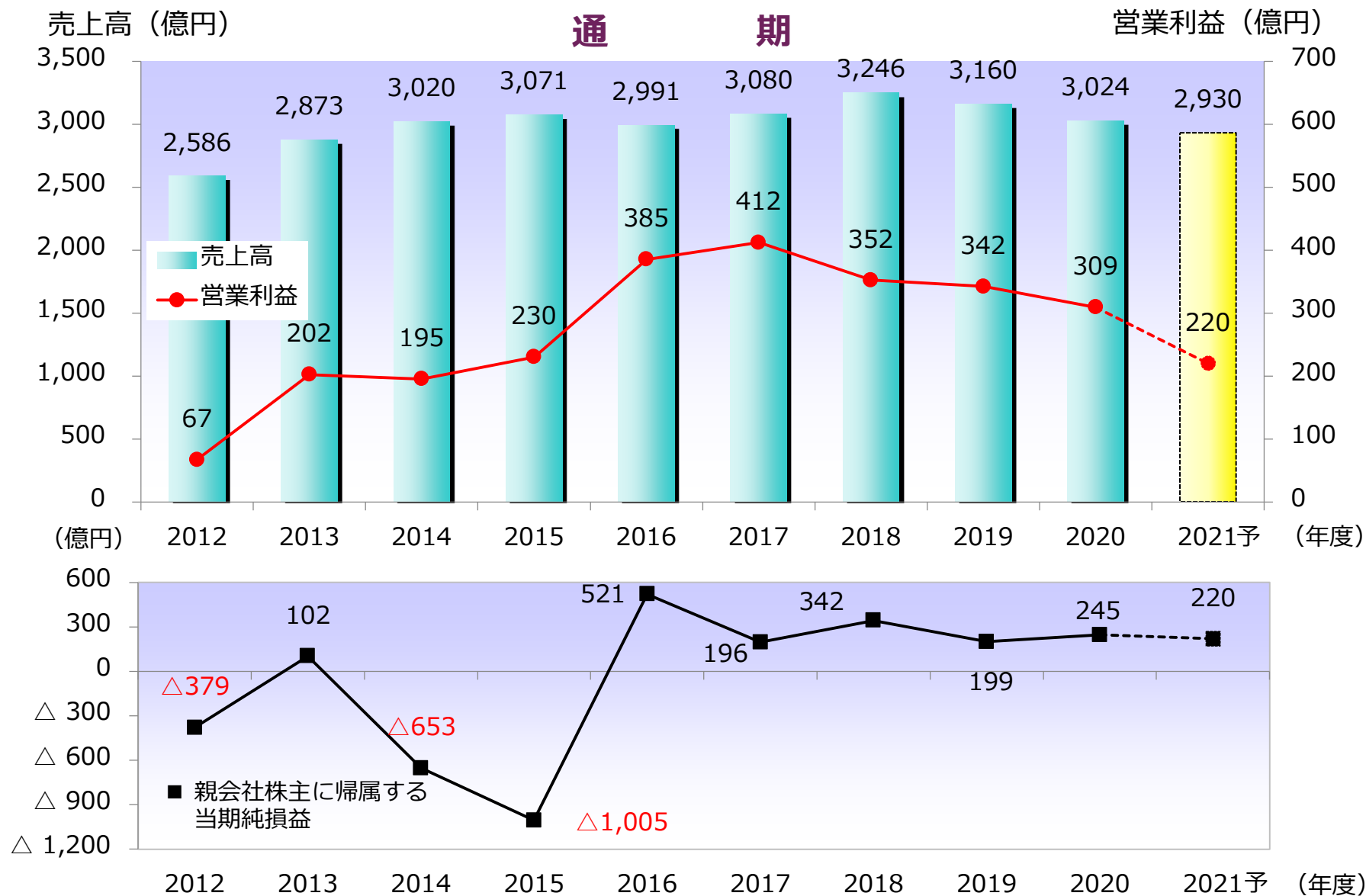
3. 投資実績・計画

連 結

(億円)

	2021年3月期		2022年3月期		増 減	
	上期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 予想	上期	通期
設備投資額	88	264	170	394	+82	+129
減価償却費	81	170	90	199	+8	+29
研究開発費	50	108	58	129	+7	+20

4. 業績推移

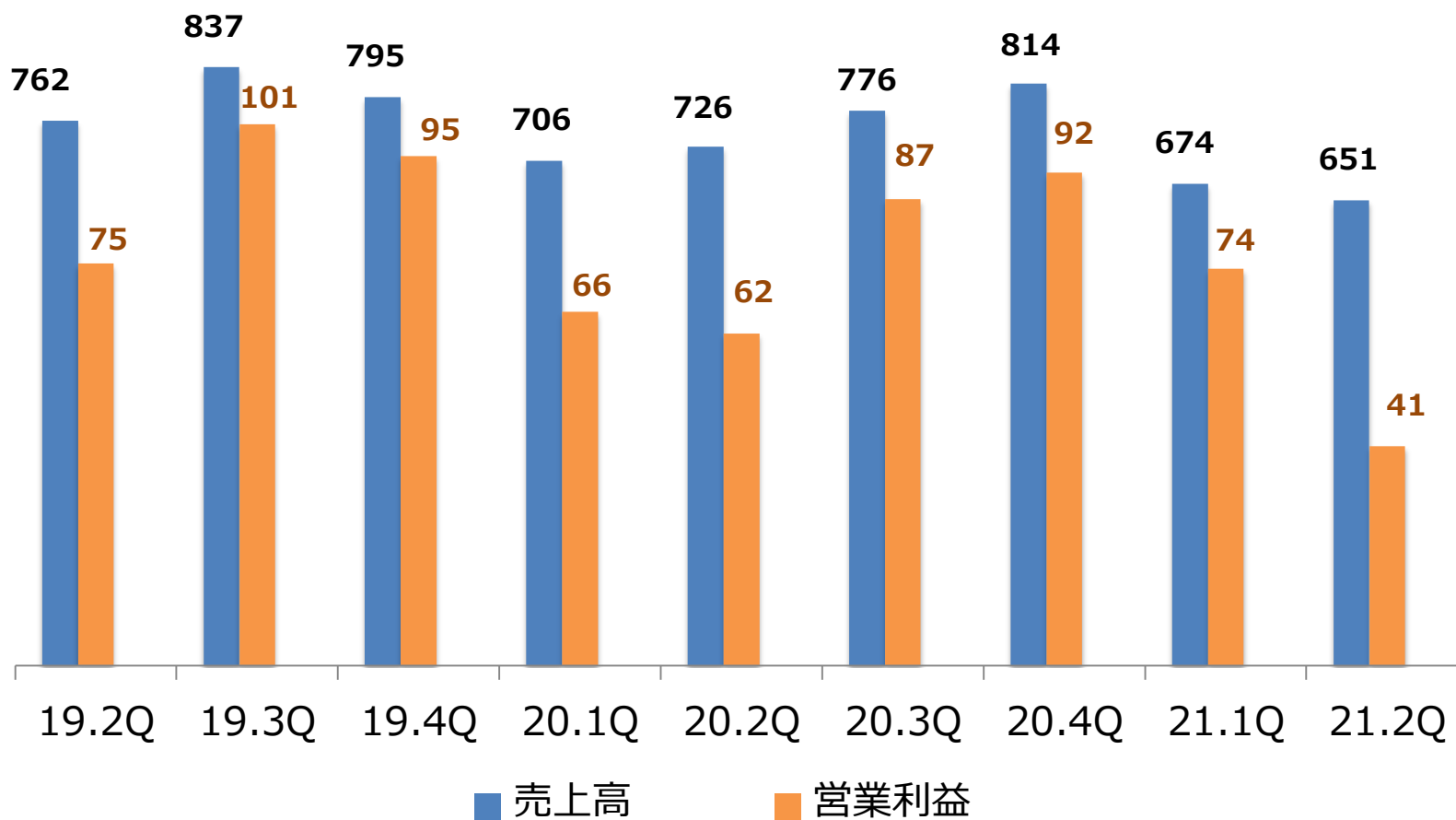


4. 業績推移

連結

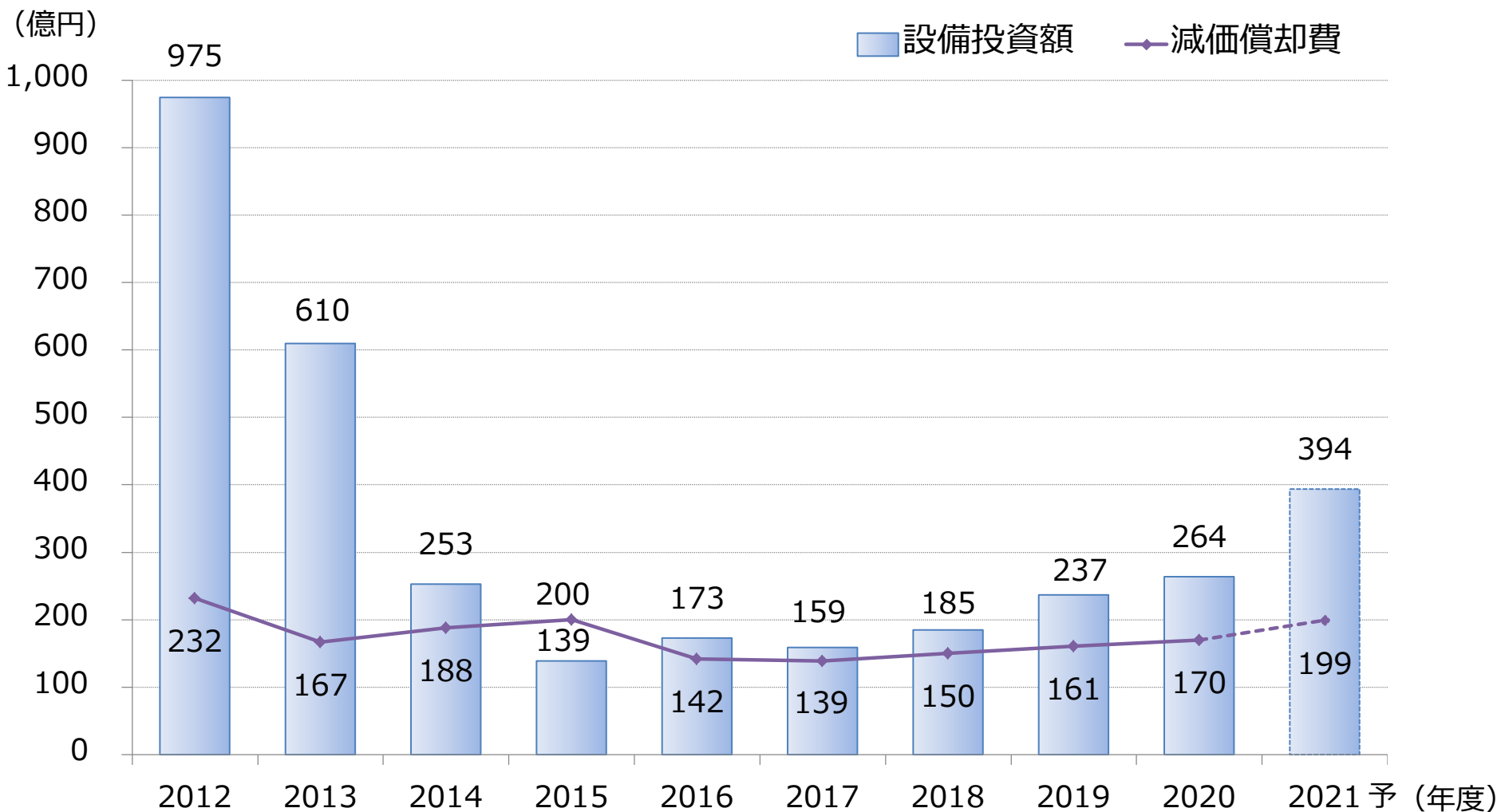
四半期

(億円)

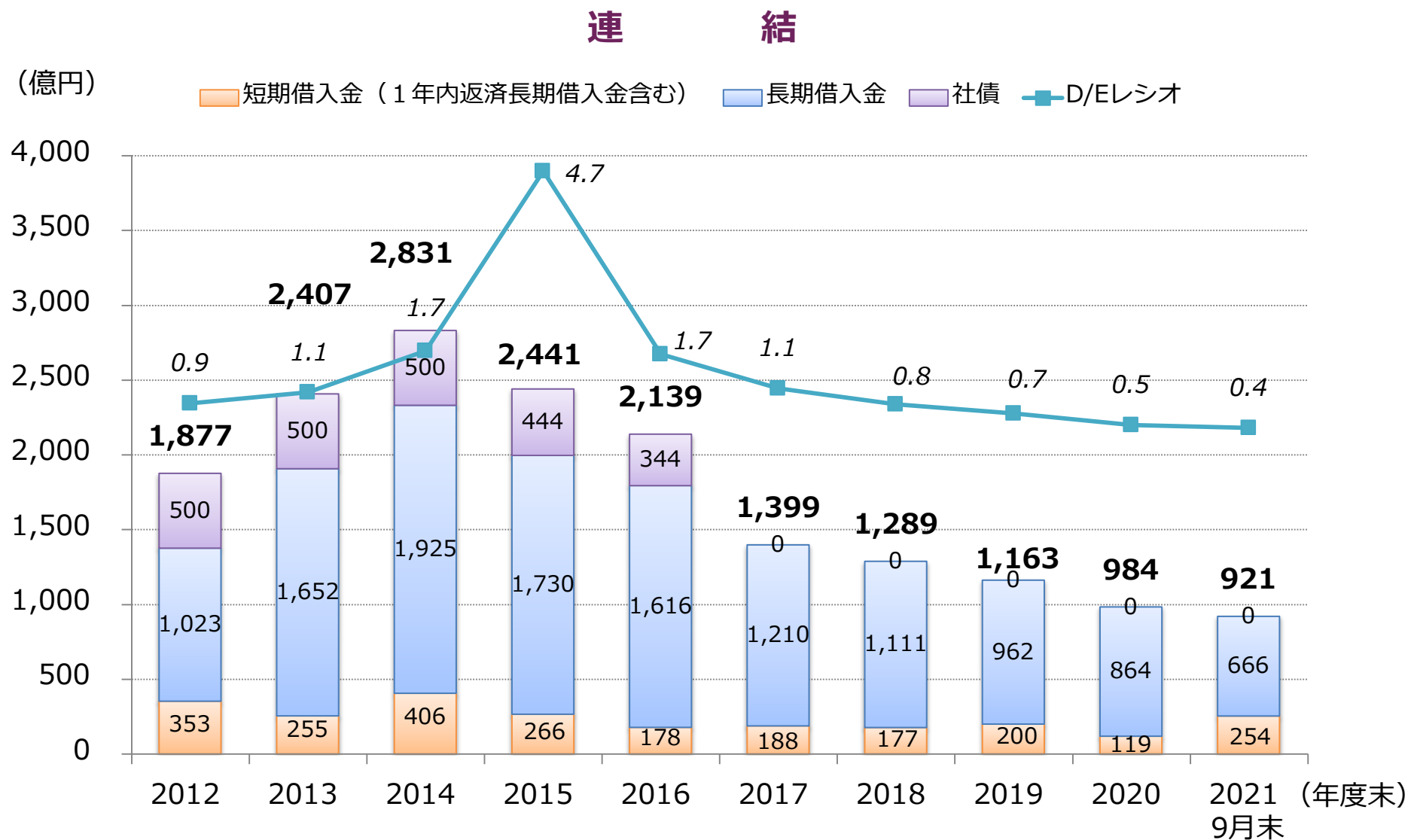


5. 設備投資額・減価償却費推移

連 結

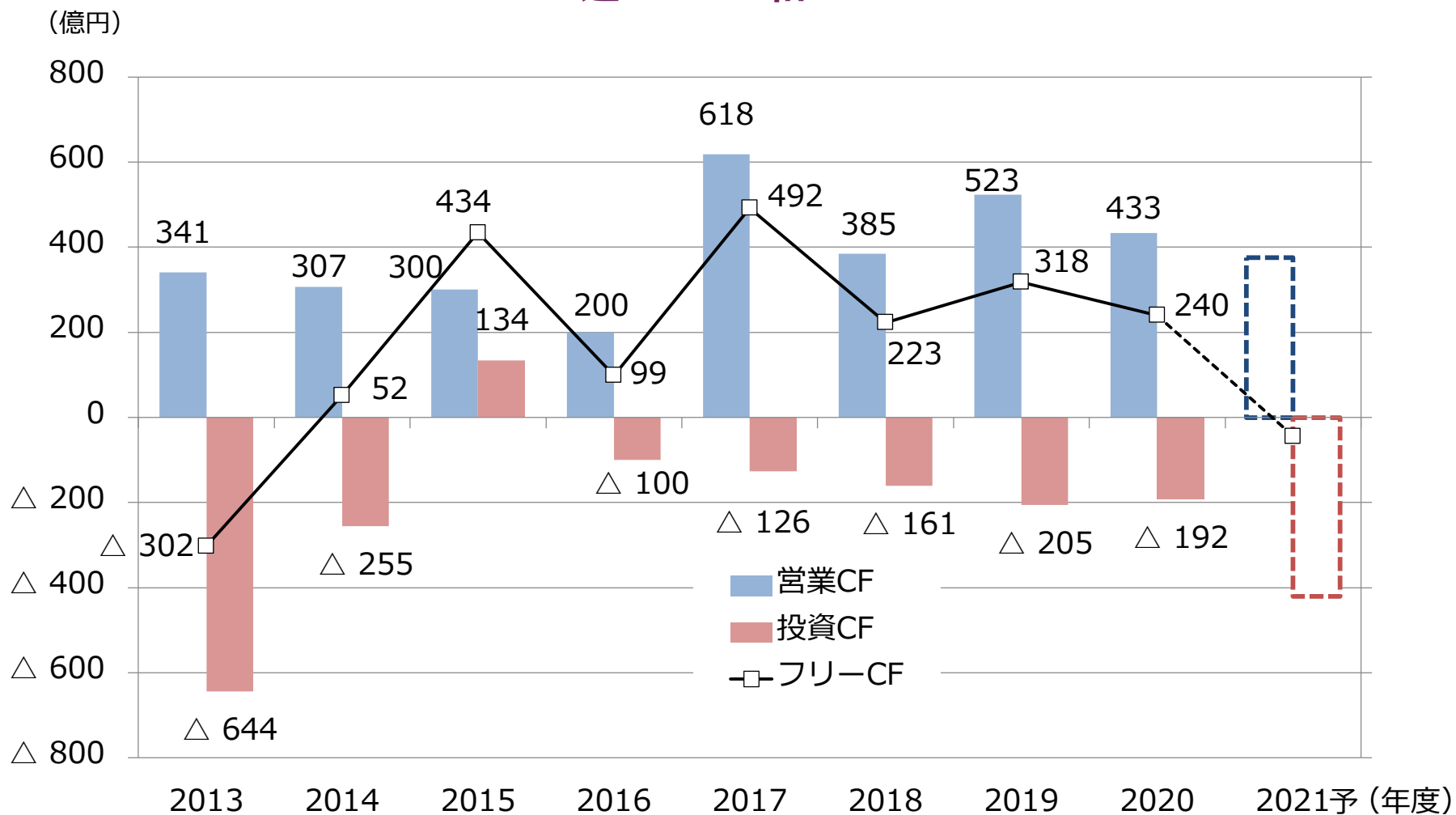


6. 有利子負債残高推移



7. フリー・キャッシュフロー推移

連 結



本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 